

第11回 日学・黒板アート甲子園® 結果発表

メイン大会、ジュニアの部は最優秀賞・優秀賞・入賞のノミネート作品が決定！

11月8日（日）に実施される表彰式にて、最優秀賞を始めとして各部門の受賞校を発表し、表彰いたします！

黒板・ホワイトボードメーカーの日学株式会社（東京都品川区、代表取締役社長 吉田朋弘）は、今年で第11回となる中高生対象の黒板アート全国大会「第11回 日学・黒板アート甲子園®」の結果を公開しました。メイン大会（黒板アート高校生）、ジュニアの部（黒板アート中学生）については、ノミネート作品を各6作品、計12作品発表しました。11月8日に実施する表彰式で、各部門の受賞作品を発表・表彰します。

受賞作品の詳細は、大会サイトでご確認ください。
第11回 日学・黒板アート甲子園®

そのほか、各部門の受賞作品は以下の通りです。※応募順に掲載しております。

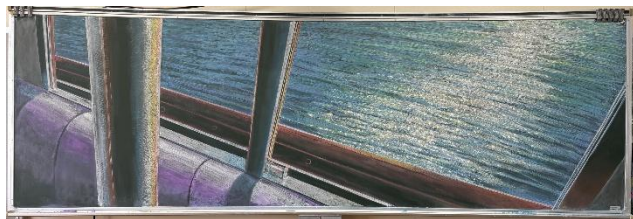
■メイン大会（高校生）最優秀賞・優秀賞・入賞ノミネート作品



▲埼玉県立新座総合技術高等学校「そのさかにゃ、」



▲宮崎県立佐土原高等学校「いけない！遅刻遅刻〜！」



▲埼玉県立大宮光陵高等学校「煌めき」



▲福島県立会津高等学校「時代（とき）の導き」



▲東京都立国際高校「Composited」



▲好文学園女子高等学校「灯がつなぐもの」

■ジュニアの部（中学生）最優秀賞・優秀賞・入賞ノミネート作品



▲愛知県春日井市立岩成台中学校
「海の舞 ～光と影の舞台で～」



▲武蔵野市立第三中学校「目指せ！」



▲野田市立第一中学校
「#仲良し 盛れたはずなのに。」



▲真岡市立真岡東中学校「私の描く世界」



▲南葛西中学校「鮭達の邁進」



▲松田町立松田中学校「Becoming」

■入賞校が一堂に会する表彰式を開催します！

表彰式にて、最優秀賞・優秀賞・入賞を発表いたします！

開催日時：11月8日（日）

場所：女子美術大学 杉並キャンパス

参加対象：＜メイン大会＞最優秀賞・優秀賞・入賞ノミネートの6チーム

＜ジュニアの部＞最優秀賞・優秀賞・入賞ノミネートの6チーム

チーム参加人数：各チーム4名まで

ゲスト：（審査員）三澤 一実氏、熊沢 加奈子氏、西村 愛子氏、吉田 朋弘氏
（協賛会社）日本白墨工業株式会社 宮本 淳司社長

※ 対象の学校へは、別途事務局よりメールにてご連絡いたします。

※ 交通費を一部補助いたします。宿泊費は個人負担となります。

■第11回大会 動画応募を刷新、「新人賞」を正式導入、白板の部の対象を拡大

日学・黒板アート甲子園®は、大会創設以来の通算でメイン大会の応募作品数が1,352作品となり、各部門を合わせた総応募作品数は2,349作品となりました。

今回の第11回大会は、メイン大会・ジュニアの部ともに動画作品（30秒～90秒）の応募を可能とし、従来の「動画の部」を統合しました。

時代の流れや表現方法の変化を踏まえ、動画作品の上限時間を90秒以内に変更したほか、昨年、メイン大会に新設した「新人賞」を正式採用し、さらにメイン大会とジュニアの部にそれぞれ1枠ずつ新人賞を追加しました。

また、白板の部の応募資格を高校生から中高生へと拡大し、より幅広い層が参加できる大会となりました。詳細に関しては、下記URLの「募集要項」をご覧ください

https://kokubanart.nichigaku.co.jp/assets/pdf/guideline_2026.pdf

日学株式会社は、今後も黒板アートの普及と手で描くことの価値を広めるとともに、彩り豊かな黒板アートをより多くの方々にご覧いただき、共感いただけるよう取り組んでまいります。また、若い方々の活躍の場の拡大と教育・文化の発展に貢献してまいります。

【主催 日学株式会社】

設立:1957年9月 代表取締役社長 吉田 朋弘（東京都品川区大井1-49-15 YK-17ビル5階）

学校などの教育関連・公共機関・オフィス向けの黒板・ホワイトボード、電子黒板、掲示板などのメーカー。高品質なアルミホーロー表面材を使用した黒板、壁面ホワイトボード「SMW」・不燃認証を取得した「不燃SMW」などを製造・販売。

◆コーポレートサイト：<https://www.nichigaku.co.jp/>

◆日学・黒板アート甲子園事務局 E-mail：kokubanart@nichigaku.co.jp

TEL :03-6429-7070

【リリースに関する問い合わせ】

株式会社ブルズアイコミュニケーションズ 日学・黒板アート甲子園®係

担当者：大井・宮部 E-mail：kokubanart@bullseyecom.co.jp TEL：03-6275-2756